

災害時における災害廃棄物処理対策に係る アンケート調査途中集計（市町村向け）

1. アンケート調査の概要

(1) 調査対象

近畿2府4県（滋賀県・京都府・大阪府・兵庫県・奈良県・和歌山県）のすべての自治体（198市町村）にアンケートを送付し、177市町村から回収した。（回収率：89.4%）

(2) 調査実施期間

平成26年度（総務省本省による全国自治体に対するアンケート調査）

(3) 設問項目の概要（集計中であり、本日は一部のデータのみ）

- ・ 基礎情報について
- ・ 災害廃棄物処理計画の策定状況について
- ・ 災害廃棄物発生量と処理可能量の推計について
- ・ 災害発生時の断水や仮設トイレの設置等に伴って必要となる、し尿収集量の推計について
- ・ 仮置き場の候補地検討状況について
- ・ 自治体間、自治体と民間事業者との連携・協力体制について
- ・ 災害廃棄物処理対策に係る研修・訓練等の実施状況について
- ・ 有害物質の保有状況、腐敗性廃棄物の発生予想状況について
- ・ 廃棄物処理施設の対策状況について

(4)調査結果の概要

No.	設問	主な回答
1-1	廃掃法上の政令市	政令市である：13、政令市でない：163
1-2	一般廃棄物を担当する部局に所属する職員数	3人未満：41、3～5人：39、 6～10人：33、10人以上：60
1-4	災害廃棄物の処理経験	ある：76、ない：100
1-5	他自治体の災害に対する人材支援や資機材支援の実施経験	ある：120、ない：53
1-6	他自治体の災害廃棄物処理に対する支援の実施経験	ある：32、ない：143
1-7	廃棄物関連業務の体制	<収集運搬業務> 直営：22、委託：70、直営と委託：84 <中間処理業務（焼却）> 直営：49、委託：78、直営と委託：39 <最終処分業務> 直営：29、委託：103、直営と委託：35
1-8	最終処分場の有無	ある：63、ない：111
2-1	災害廃棄物処理計画の策定状況	策定済み：65、現在策定中：7、 今後、策定する予定：51、 策定する予定はない：50
3-1	災害廃棄物発生量の推計状況	推計済み：25、推計中：3、 今後、推計する予定：50、 推計する予定はない：94
4-1	災害時のし尿必要収集量の推計状況	推計済み：20、推計中：3、 今後、推計する予定：44、 推計する予定はない：107
5-1	仮置き場の候補地検討状況	リストを作成している：30、 リストは作成していないが、大よその検討を行っている：48、 リストの作成も検討もしていない：97
6-1	都道府県内の自治体との災害廃棄物処理協定締結状況	協定を結んでいる：71、 今後、結ぶ予定である：19、 協定を結ぶ予定はない：83

2.アンケート調査結果

(1)問1 基礎情報について

ア 問1-1 廃掃法上の政令市

廃掃法上の政令市については、「政令市でない」が163件(92.1%)と最も多く、「政令市である」が13件(7.3%)、「無回答」が1件(0.6%)となっている。

図表1 廃掃法上の政令市 (n=177)

イ 問1-2 一般廃棄物を担当する部局に所属する職員数

一般廃棄物を担当する部局に所属する職員数については、「10人以上」が60件(33.9%)と最も多く、「3人未満」が41件(23.2%)、「3～5人」が39件(22.0%)と続く。

図表2 一般廃棄物を担当する部局に所属する職員数 (n=177)

問 1 - 4 災害廃棄物の処理経験

災害廃棄物の処理経験については、「ない」が 100 件 (56.5%) と多く、「ある」が 76 件 (42.9%)、「無回答」が 1 件 (0.6%) となっている。

図表 3 災害廃棄物の処理経験 (n=177)

< 「ある」と回答した自治体に対応した災害 >

災害	件数
紀伊半島豪雨 (2011)	22
京都府南部地域豪雨 (2012)	6
台風 23 号 (2004)	13
台風 18 号 (2013)	21
その他	29

ウ 問 1－5 他自治体の災害に対する人材支援や資機材支援の実施経験

他自治体の災害に対する人材支援や資機材支援の実施経験については、「ある」が 120 件 (67.8%) と多く、「ない」が 53 件 (29.9%)、「無回答」が 4 件 (2.3%) となっている。

図表 4 他自治体の災害に対する人材支援や資機材支援の実施経験 (n=177)

< 「ある」と回答した自治体に対応した災害 >

災害	件数
東日本大震災 (2011)	83
紀伊半島豪雨 (2011)	24
福知山市豪雨 (2014)	17
丹波市豪雨 (2014)	9
京都府南部豪雨 (2012)	7
その他	63

問 1-6 他自治体の災害廃棄物処理に対する支援の実施経験

他自治体の災害廃棄物処理に対する支援の実施経験については、「ない」が 143 件（80.8%）と多く、「ある」が 32 件（18.1%）、「無回答」が 2 件（1.1%）となっている。

図表 5 他自治体の災害廃棄物処理に対する支援の実施経験（n=177）

< 「ある」と回答した自治体に対応した災害 >

災害	件数
台風 23 号（2004）	8
紀伊半島豪雨（2011）	7
佐用町豪雨（2009）	6
東日本大震災（2011）	4
福知山市豪雨（2014）	4
その他	11

エ 問 1 - 7 廃棄物関連業務の体制

廃棄物関連業務の体制については、＜収集運搬業務＞では「直営と委託」が 84 件（47.5%）と最も多く、「委託」が 70 件（39.5%）、「直営」が 22 件（12.4%）と続く。

＜中間処理業務（焼却）＞では「委託」が 78 件（44.1%）と最も多く、「直営と委託」が 39 件（22.0%）、「直営」が 49 件（27.7%）と続く。

＜最終処分業務＞では「委託」が 103 件（58.2%）と最も多く、「直営と委託」が 35 件（19.8%）、「直営」が 29 件（16.4%）と続く。

図表 6 廃棄物関連業務の体制（n=177）

オ 問 1 - 8 最終処分場の有無

最終処分場の有無については、「ない」が 111 件（62.7%）と多く、「ある」が 63 件（35.6%）、「無回答」が 3 件（1.7%）となっている。

図表 7 最終処分場の有無（n=177）

(2)問2 災害廃棄物処理計画の策定状況について

ア 問2-1 災害廃棄物処理計画の策定状況

災害廃棄物処理計画の策定状況については、「策定済み」が65件(36.7%)と最も多く、「今後、策定する予定」が51件(28.8%)、「策定する予定はない」が50件(28.2%)と続く。

図表8 災害廃棄物処理計画の策定状況 (n=177)

問3 災害廃棄物発生量と処理可能量の推計について

イ 問3-1 災害廃棄物発生量の推計状況

災害廃棄物発生量の推計状況については、「推計する予定はない」が94件(53.1%)と最も多く、「今後、推計する予定」が50件(28.2%)、「推計済み」が25件(14.1%)と続く。

図表9 災害廃棄物発生量の推計状況 (n=177)

(3)問4 災害発生時の断水や仮設トイレの設置等に伴って必要となる、し尿収集量の推計について

ア 問4-1 災害時のし尿必要収集量の推計状況

災害時のし尿必要収集量の推計状況については、「推計する予定はない」が107件(60.5%)と最も多く、「今後、推計する予定」が44件(24.9%)、「推計済み」が20件(11.3%)と続く。

図表 10 災害時のし尿必要収集量の推計状況 (n=177)

(4)問5 仮置き場の候補地検討状況について

ア 問5-1 仮置き場の候補地検討状況

仮置き場の候補地検討状況については、「リストの作成も検討もしていない」が97件(54.8%)と最も多く、「リストは作成していないが、大よその検討を行っている」が48件(27.1%)、「リストを作成している」が30件(16.9%)と続く。

図表 11 仮置き場の候補地検討状況 (n=177)

(5)問6 自治体間、自治体と民間事業者との連携・協力体制について

ア 問6-1 都道府県内の自治体との災害廃棄物処理協定締結状況

都道府県内の自治体との災害廃棄物処理協定締結状況については、「協定を結ぶ予定はない」が83件(46.9%)、「協定を結んでいる」が71件(40.1%)、「今後、結ぶ予定である」が19件(10.7%)と続く。

図表 12 都道府県内の自治体との災害廃棄物処理協定締結状況 (n=177)

< 「協定を結んでいる」自治体の協定の具体的内容 >